長編ＣＭシナリオ

僕の嘘は音色に消える

memento.

人物

三浦葉一（３５）（２０）中学教員

水川真菰（まこも）（１６）三浦の姪

水川新一（２０）クラリネット奏者

志音堂の社員

生徒１

生徒２

中学生

○純喫茶小森・中

三浦葉一（３５）と志音堂の社員が向かい合い話をしている。資料を片手に

三浦「僕はもうトランペッターではないですよ。御社に仕事をもらえる人間でもない」

○三浦実家の押し入れ・中

影に隠れた受賞トロフィーと飾られていない額に入った表彰状。

志音堂の社員の声「ですが、三浦さんは高校生の時に名のある賞を受賞されている」

○純喫茶小森・中

志音堂の社員、コーヒーも一口飲む。

志音堂の社員「そんな方をジャズ界が放っておくわけがない」

三浦、資料を見てじっとしたまま。

志音堂の社員「お姉様もそう望まれてます」

三浦「このことに姉は関係ないです。僕が決めることですから」

三浦、コップ一杯の水を飲み干す。コーヒーには手をつけない。

三浦「もうお昼も終わるので失礼します」

三浦、席を立ちお辞儀をして去る。

○矢上高校・全景

三浦がチョークで黒板に書く音。

○同・1年3組教室・中

12人の生徒がバラバラに座席につき、数学の授業を受けている。

水川真菰（16）が席でシャーペンを回す。2回成功し、3回目は失敗して机にシャーペンを落とす。

同時に三浦、黒板に数式を書くがチョークが落ち折れる。黒板消しも落ちる。

生徒1「なんか今日の先生、心ここにあらずって感じじゃない？」

生徒2「そう？相変わらず腑抜け感あるけど、まぁさらに別世界に飛んでる雰囲気あるね」

三浦の腹が鳴る。生徒にも聞こえ、後席の生徒１と生徒２が静かに笑う。

生徒１「やっぱり、おかしいって。真菰、なにか知ってる？親戚でしょ？」

真菰、またシャーペンを回すが急に手を止める。シャーペンが落ちる。それを拾いながら、

真菰「知るわけ無いじゃん」

真菰、三浦の後ろ姿を見つめる。

○三浦宅・中（朝）

閉まったカーテンから光が漏れる。

目覚まし時計は８時３０分。

カレンダーは５月２６日（土）に赤い丸がついている。

三浦、窓際の布団にくるまり眠る。

玄関からチャイムが聞こえる。

玄関の鍵を開け、真菰が入ってくる。

真菰「（静かな声で）お邪魔しまーす」

三浦を踏み、カーテンを開ける。

三浦「うぅ！」

真菰、散らかった家の中を片付ける。

三浦、踏まれた衝撃でゆっくり起き上がる。

寝癖姿の三浦。

真菰「あ、先…、叔父さん起きた？」

三浦「そりゃ、踏まれりゃ起きるしかねぇ」

真菰「ごめん、ごめん。どこで寝ているのかわかんなくて。」

三浦「お前の目はどこに付いてんだ？」

真菰「そんなのここに決まってるじゃん！」

真菰、指でメガネを作って目に当てる。

三浦「そういう意味じゃねぇ」

× × ×

三浦、洗面台へ寝癖を直す。

三浦「姉さんからなんか聞いたのか？」

真菰「ママから？なんのこと？」

三浦「いや、知らないならいい」

× × ×

真菰、レンジでキッシュを温める。

真菰「志音堂さん、なんて言ってたの？」

三浦、うがいの水を噴き出す。

三浦「知ってるじゃねぇか」

真菰、舌を出して笑う。

真菰「てへっ」

三浦「かわいくねぇな。誰に似たんだか」

真菰「パパじゃない？」

三浦「そうだな。そこで姉さんを選ぶ選択肢はないな。怒られるし」

× × ×

三浦と真菰、キッシュを食べながら

真菰「あのさ、玄関に括られてたＣＤさ」

三浦「あぁ、あれは捨てる」

真菰「捨てるならもらっていい？」

三浦「あと、処分してくれるなら」

真菰、笑って

真菰「やった」

三浦「真菰は音楽好きか？」

真菰「わかんない」

三浦「そうだよな」

真菰「でも、一つだけ言える。叔父さんが聞いてた音楽は私に馴染むってこと」

○川沿いの道

川で中学生がトランペットを吹く。

風が吹き抜けて、音楽が響く。

三浦と真菰が並んで歩く。

真菰「叔父さんも昔はトランペット吹いてたんでしょ？」

三浦「まぁな。それも姉さんに聞いたのか」

真菰「うん、叔父さんが三浦家の養子だったってことも。なんで辞めちゃったの？」

三浦「さぁな。そんなの昔に忘れたよ」

真菰、少し遠くを見る。

真菰「ママ、ピアノやってるじゃん。最初パパが亡くなったから、私たちを食べさせていくために仕方なく名前の残らない作曲とかしてるのかと思ってたの。でもママ、楽しくてやってる。そんな切り替え私だったらできないなーって」

三浦「俺にだってできないさ」
真菰「叔父さんが何のきっかけで吹かなくなったかはわかんないけど、楽しくないならやらない選択もありだと私は思うよ」
真菰、立ち止まり下を見る。
三浦「そうだよな」

○（回想）川沿いの土手
クラリネットを吹く水川新一（２０）とトランペットを吹く三浦葉一（２０）。
笑顔でセッションする二人。

○川沿いの道
三浦、音楽を聴き、空を仰ぎ見る。
三浦「でも、どうだろうな」

m
e
m
e
n
t
o
.